

# 地域医療構想にかかる具体的対応方針について

和歌山県湯浅保健所  
令和6年9月5日

# 病床利用率の状況 (令和5年度病床機能報告)

## 令和5年度

2023年7月1日現在 (2022年4月1日～2023年3月31日)

病床利用率	急性期	回復期	慢性期
95%以上			有田南病院
90～95%			
80～90%	西岡病院	有田南病院	桜ヶ丘病院 土屋クリニック
70～80%	有田市立病院 済生会有田病院	西岡病院	西岡病院
60～70%		済生会有田病院	
50～60%			
40～50%		有田市立病院	
30～40%			
30%未満	はしもとクリニック		

## (参考) 令和4年度

2022年7月1日現在 (2021年4月1日～2022年3月31日)

病床利用率	急性期	回復期	慢性期
95%以上			有田南病院
90～95%		有田南病院	桜ヶ丘病院
80～90%	西岡病院		西岡病院 土屋クリニック
70～80%	済生会有田病院	西岡病院	
60～70%	有田市立病院	済生会有田病院	
50～60%			
40～50%		有田市立病院	
30～40%			
30%未満	橋本胃腸肛門外科		

病床利用率：「在院患者延べ数」／（「許可病床数」×「診療実日数」）

# 非稼働病床の状況（令和5年度病床機能報告）

（単位：床）

医療機関名	一般病床		療養病床		非稼働病床数（※１―※２）	非稼働割合	入院基本料・特定入院料 及び 届出病床数（※１）								
	許可病床数（※１）	最大使用病床数（※２）	許可病床数（※１）	最大使用病床数（※２）			急性期一般入院料１・３	急性期一般入院料４・５	急性期一般入院料６・７	地域一般入院料	療養病床入院料	特殊疾患病床入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料	地域包括ケア病床入院料	入院料等の届出なし
有田保健医療圏	479	434	171	165	51	7.8%	104	54	32	26	155	49	68	139	
1 有田市立病院	153	120			33	21.6%		54						99	
2 済生会有田病院	184	176			8	4.3%	104						40	40	
3 西岡病院	60	58	60	56	6	5.0%			32		60		28		
4 桜ヶ丘病院	49	48	50	48	3	3.0%					50	49			
5 有田南病院	26	26	45	45						26	45				
6 土屋クリニック	3	3	16	16											
7 はしもとクリニック	4	3			1	25.0%									

（※1）2023年7月1日現在  
（※2）2022年4月～2023年3月における「最も多く患者を収容した時点で使用した病床数」（病棟単位で算出したものを合計）  
（注）入院基本料・特定入院料の届出病床数は病床機能報告により各医療機関から報告された数であり、厚生局が公表している施設基準の届出受理状況と一致しないものもある。

# 医療機能ごとの病床数の推移

	2015年7月1日現在（A）						2024年3月1日現在（B）						増減（B）－（A）						
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類 なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類 なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類 なし	
有田市立病院	153		108	45			153		54	99			0		▲ 54	54			急性期から回復期へ54床転換 （2017.7.1）
済生会有田病院	184		104	40	40		184		104	80			0			40	▲ 40		慢性期から回復期へ40床転換 （2016.11.1）
西岡病院	120		60		60		120		32	28	60		0		▲ 28	28			急性期から回復期へ28床転換 （2015.9.1）
桜ヶ丘病院	99				99		99				99		0						
有田南病院	71		26		45		71			26	45		0		▲ 26	26			急性期から回復期へ26床転換 （2018.11.1【24床】） （2019.7.1【2床】）
土屋クリニック	19				19		19				19		0						
ファミリー産院ありだ	0						12		12				12		12				急性期を12床設置 （2024.3.1）
森下整形外科	19		19				0						▲ 19		▲ 19				無床化（2020.1.1）
おおち眼科	4		4				0						▲ 4		▲ 4				無床化（2017.3.15【2床】） （2018.12.1【2床】）
しまクリニック	10		10				0						▲ 10		▲ 10				無床化（2021.12.15）
はしもとクリニック	19		19				0						▲ 19		▲ 19				無床化（2023.7.15【15床】） （2024.2.8【4床】）
総計（C）	698	0	350	85	263	0	658	0	202	233	223	0	▲ 40	0	▲ 148	148	▲ 40	0	
2025年における必要病床数（D）							495		146	148	201								
（C）－（D）							163		56	85	22								

# 2025年に向けた具体的対応方針

	医療機関名 (役割・方向性A～F順)	2015年7月1日時点〔構想策定前〕					2025年 予定〔アンケート結果及びアンケート後の対応〕					不足する医療機能への転換など、 主な取組内容(予定含む)			
		病床数	高 度 急 性 期	急 性 期	回 復 期	慢 性 期	休 棟	役割・方向性 (Q1)	病床数 (Q2)	高 度 急 性 期	急 性 期	回 復 期	慢 性 期	休 棟	(Q3,4)
1	済生会有田病院	184	104	40	40		B 救急拠点型	184	104	80				2016年 (2025年)	回復期に転換（実施済） 40床 急性期を一部廃止（予定） 35床
2	有田市立病院	153	108	45			C 地域密着型	153	54	99				2017年 (2026年) (2026年)	回復期に転換（実施済） 54床 急性期を一部廃止（予定） 14床 回復期を一部廃止（予定） 19床
3	西岡病院	120	60		60		C 地域密着型	120	32	28	60				病床再編は行わない ※2015年 回復期に転換 28床
4	有田南病院	71	26		45		C 地域密着型	71		26	45			2019年	回復期に転換（実施済） 26床
5	桜ヶ丘病院	99			99		D 療養病床	99			99				病床再編は行わない
6	土屋クリニック	19			19		D 療養病床	19			19				病床再編は行わない
7	ファミリー産院ありだ						E 特殊な機能	12	12					2024年	急性期を設置（実施済） 12床
	はしもとクリニック	19	19											2024年	急性期を廃止（実施済） 19床
	合計（有田圏域）	665	317	85	263			658	202	233	223				

A 救急拠点型

…重症患者の救急受入、高度・専門医療 など

B 救急拠点型

…年間100件以上の入院を要する救急患者受入れ

C 地域密着型

…軽症患者の救急受入れ 急性期病院からの転院受入 在宅復帰へ向けた医療 など

D 療養病床

E 特殊な機能

…産科、精神科、障害者医療 など

# 当面の病床機能転換等の一覧（有田保健医療圏）

No.	医療機関名	<div> <div>今後の役割・方向性</div> <div>令和5年1月 「2025年に向けた対応方針アンケート」より</div> </div>	転換等の内容		転換等の時期
1	済生会有田病院	<div> <div>【B】救急拠点型</div> <div>年間100件以上の入院を要する救急患者受入</div> </div>	<div> <div>廃止</div> <div></div> </div>	<div> <div>急性期104床のうち35床を廃止</div> <div>&lt;転換後の機能別病床数&gt;</div> <div>急性期69床、回復期80床</div> </div>	令和7年3月

# 病床機能の転換・病床数の変更等について

医療機関名

済生会有田病院

現在の病床機能【概要】				
＜令和6年7月1日現在＞				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	病床利用率
急性期	3	急性期一般入院料1	104	63.6%
回復期	2	地域包括ケア病棟入院料1	80	79.7%
		回復リハビリテーション病棟入院料1		
計	5		184	
(備考)				
病床利用率：「在院患者延べ数」／（「許可病床数」×「診療実日数」）				



今後の病床機能				
＜令和7年3月以降＞				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	
急性期	2	急性期一般入院料2	69	
回復期	2	地域包括ケア病棟入院料1	80	
		回復リハビリテーション病棟入院料1		
計	4		149	(定員)
(機能転換・病床数変更等の概要)				
急性期104床のうち35床を廃止				

現在の病床機能【詳細】					
(入院患者の現状)					
令和2年度	急性期一般病棟入院料1	在院患者数	28,225	稼働率	74.2%
令和3年度	急性期一般病棟入院料1	在院患者数	30,918	稼働率	81.4%
令和4年度	急性期一般病棟入院料1	在院患者数	29,456	稼働率	77.6%
令和5年度	急性期一般病棟入院料1	在院患者数	25,129	稼働率	66.2%
令和2年度	地域包括ケア病棟入院料1	在院患者数	7,688	稼働率	52.5%
令和3年度	地域包括ケア病棟入院料1	在院患者数	9,345	稼働率	64.0%
令和4年度	地域包括ケア病棟入院料1	在院患者数	8,754	稼働率	60.0%
令和5年度	地域包括ケア病棟入院料1	在院患者数	7,343	稼働率	50.2%
令和2年度	回復期リハビリテーション病棟入院料1	在院患者数	11,920	稼働率	81.4%
令和3年度	回復期リハビリテーション病棟入院料1	在院患者数	12,055	稼働率	82.6%
令和4年度	回復期リハビリテーション病棟入院料1	在院患者数	11,323	稼働率	77.6%
令和5年度	回復期リハビリテーション病棟入院料1	在院患者数	10,526	稼働率	71.9%
地域密着型協力病院の指定を受けている					



転換転換・病床数変更後における病院・診療所のあり方	
<p>有田医療圏ににおいて有田市立病院とも連携を取りつつ第8次医療計画に基づき、引き続き急性期病院としての任務を継続いたします。</p> <p>特に有田医療圏においては2つの急性期病院で機能分担を進め、効率の良い医療を展開するために、有田医療圏における外科的疾患を当院で担当すべく、設備および人員配置を進めているところです。</p> <p>一方、急激な人口減の状況において、特に高齢者人口も減少に転じている和歌山県、有田医療圏ではこれからは高齢者の疾患が急激に減少することが推察されます。急性期病院の機能分担はもとより、変動する医療需要さらには働き手の減少に応じて適切な病床数を設定することは必須で、今回、今までの病床稼働率やその内容から急性期1病棟35床の廃止を決定いたしました。</p> <p>これからも、有田医療圏での医療の発展・維持のために現有の医療資源を有効活用しつつ、他医療機関とも協力して、求められる急性期医療を展開していく予定です。</p>	
＜地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等＞	
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 検討中	<input checked="" type="checkbox"/> 指定済み